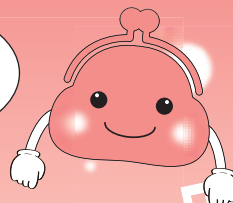


財政公表

市では、市民の皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお知らせするため、予算の執行状況や決算を毎年公表しています。この特集では市の財政状況や平成29年度の決算の概要をお知らせします。

問▶ 財政課
(☎71)2210

安城市の
お財布の中身を
お見せします！



財政の現状とこれから

市債残高(市の借金)

一般会計	185億2937万円
特別会計	196億8766万円
企業会計	8億2938万円

基金残高(市の貯金)

一般会計	253億8192万円
特別会計	43億3729万円

財政力指数

標準的な行政サービスにかかるお金を市税等の収入で賄える割合(指数1を超えるほど、自主財源の割合が高いことを示します)

1.28

経常収支比率

人件費や福祉の費用、借金の返済等が、市税等の定期的な収入に占める割合(比率が高いほど自由に使えるお金が少ないことを示します)

77.5%

(全国市町村平均 92.8%)

健全化判断比率の4つの指標は良好

指標	安城市	早期健全化基準
実質赤字比率 一般会計等の赤字の割合	赤字なし (-8.47%)	11.41%
連結実質赤字比率 一般会計、特別会計、企業会計を合わせた赤字の割合	赤字なし (-25.94%)	16.41%
実質公債費比率 年間の借金返済額の割合	1.0%	25.0%
将来負担比率 将来の負担となる借金の割合	— (-74.6%)	350.0%

※早期健全化基準より値が少ないほど、その自治体の財政は健全な状態を示します。

※将来負担比率の「—」は実質的な将来負担が発生していないことを示します。

※一般会計、特別会計、企業会計については4、5ページで解説しています。

現状

財政は健全です。

自治体の財政状況を判断する健全化判断比率は良好な状態です。

適切な資産管理・運用

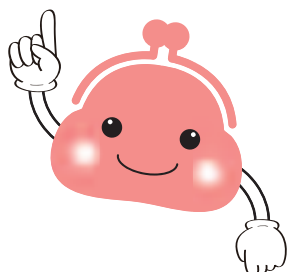
公共施設等の資産の適切な維持保全と財政負担の軽減の両立を図ります。

自主財源の確保

市税等の収納率向上を図るとともに、広告収入等による自主財源確保を進めます。

事業の選択と集中

経常経費の節減、合理化・効率化に徹底して取り組みます。



取組

限られたお金を大切に、お金の使い方と集め方の見直しをより一層進めます。

将来

収入の大きな伸びは期待できません。少子高齢化に伴い、支出は増加が見込まれます。

少子高齢化が進む中、市税をはじめとする収入の大きな増加は見込めません。一方で、医療・介護等の社会保障費や老朽化した公共施設の改修費用の増加が予想されます。

一般会計

歳入・歳出は、いずれも過去最高だった平成28年度に次ぐ規模になりました。

収支は48億円の黒字になりました。

一般会計とは、福祉や教育、道路整備等行政の基本的な事業を行うための会計のことです。平成29年度は、歳入707億円(前年比4.2%減)、歳出658億円(前年比5.2%減)となりました。

それでは安城市の財政状況を細かく見ていこう!

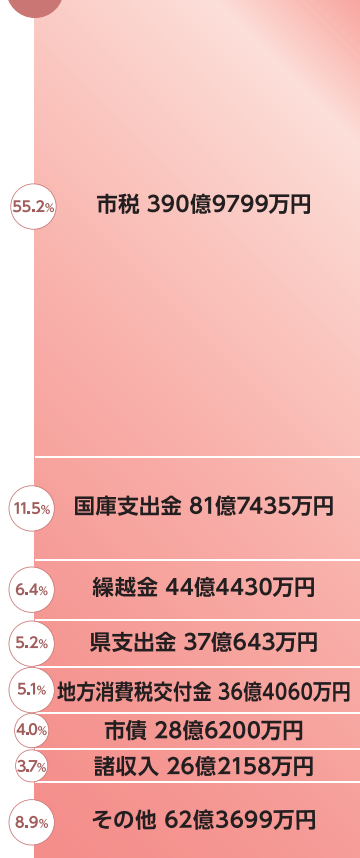


平成29年度は、第8次総合計画の目指す都市像「幸せつながる健康都市 安城」の実現に向け、市体育館やソフトボール場A球場を改修した他、健康づくりフェア、ウォーキングイベント等を開催し、市民の皆さんが主体的に健康づくりに取り組めるよう環境整備を進めました。この他、総合計画の5つの要素「健康」「環境」「経済」「ぎずな」「子ども」の分野にわたって、様々な事業を展開しました。事業の選択と集中により持続可能な財政運営を行い、健全財政を維持しました。

歳入総額 707億8424万円

前年度比31億4045万円減(4.2%減)

構成比



歳出総額 658億9842万円

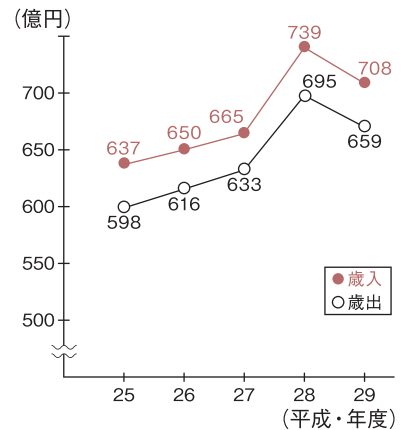
前年度比35億8197万円減(5.2%減)

歳入から歳出を引いた額
48億8582万円

構成比



歳入・歳出額の推移



市民一人当たりの
市の貯金残高
13万4514円

市民一人当たりの
市の借金残高
9万8199円

市民一人当たりにかかった費用はいくら?

民生費 (医療・福祉・子育て支援等にかかるお金)	12万4645円
土木費 (道路や公園等を整備するお金)	5万9040円
教育費 (学校や社会教育、スポーツ振興等にかかるお金)	5万1943円
総務費 (基金への積立、庁舎等の財産管理等にかかるお金)	3万9805円
衛生費 (保健衛生やごみ処理等にかかるお金)	3万366円
その他(上記以外)	4万3437円
合計	34万9236円

※平成30年3月31日現在の人口18万8693人で算出。

市民一人当たりの財政状況

一般会計の財政状況を市民一人当たりで換算すると、34万9236円を行政サービス等に使っています。

一般会計

日々の食事代や家賃等を支払う

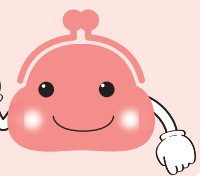
特別会計(介護)

おじいちゃん・おばあちゃんの介護用品を買う

特別会計(区画)

土地の売買で使う

お財布を分けて、収入と支出を分かりやすくしているんだ



次ページで今年度上半期の予算の執行状況をお知らせします。

企業会計

企業会計とは、公共の利益を目的に地方自治体が経営する、「企業」に於ける会計です。安城市では水道事業が該当します。

【水道事業】

区分	収入	支出
収益的収支 経営活動により発生する収入・支出	33億9237万円	28億 691万円
資本的収支 施設を建設・整備するための収入・支出	4億6856万円	13億7438万円

※資本的収支の支出超過分は、留保資金等で補填しています。

公有財産

土地	267万 774㎡
建物(延べ面積)	54万8399㎡
有価証券	3270万円

資産

特別会計

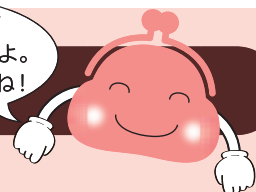
8つある特別会計は、いずれも黒字でした。

特別会計とは、保険料や使用料等、事業内の独自の収入で運営している会計のことです。

会計名(事業)	歳入	歳出	差引
国民健康保険	178億3090万円	161億5344万円	16億7746万円
土地取得	176万円	120万円	56万円
有料駐車場	3億6571万円	2億1831万円	1億4740万円
下水道	43億4206万円	43億4198万円	8万円
農業集落排水	6824万円	6824万円	0円
安城桜井駅周辺特定土地区画整理	22億5323万円	21億9280万円	6043万円
介護保険	94億9931万円	93億2643万円	1億7288万円
後期高齢者医療	19億5673万円	19億4619万円	1054万円

平成29年度に取り組んだ主な事業

デンパークがより楽しかったよ。ぜひ遊びに来てね!



アリーナ床の張り替えや照明のLED化等、市体育館を改修



大型木製遊具の設置等、デンパーク「風車の広場」を改修



「あそぼ〜ネ」の整備等、デンパーク「マーガレットハウス」を改修



観覧席の増築等、ソフトボール場A球場を改修



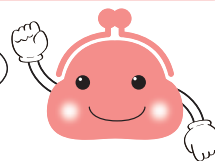
中央図書館を子ども発達支援センターあんステップに改修



市制65周年記念事業(写真は木のおもちゃ図書館)

平成30年度上半期・予算執行状況

今年度の4～9月について収入と支出が
どれだけだったかを見てみよう！



歳入

款別	予算額	収入済額	収入率
市税	382億2017万円	226億7165万円	59.3%
国庫支出金	80億6898万円	27億1736万円	33.7%
市債	39億6700万円	0円	0.0%
繰入金	38億8129万円	0円	0.0%
県支出金	37億5379万円	5億5196万円	14.7%
繰越金	33億3577万円	48億8582万円	146.5%
地方消費税交付金	32億5000万円	20億9630万円	64.5%
諸収入	25億 808万円	7億2810万円	29.0%
使用料及び手数料	9億8463万円	5億1344万円	52.1%
その他	27億8313万円	10億3903万円	37.3%
計	707億5284万円	352億 366万円	49.8%

歳出

款別	予算額	支出済額	支出率
民生費	247億6638万円	88億8253万円	35.9%
土木費	136億8463万円	25億 183万円	18.3%
教育費	115億5501万円	38億6601万円	33.5%
衛生費	62億2058万円	15億8652万円	25.5%
総務費	58億 229万円	18億4536万円	31.8%
公債費	29億7512万円	12億8549万円	43.2%
消防費	21億4544万円	8億6360万円	40.3%
商工費	15億1527万円	3億8797万円	25.6%
農林水産業費	14億7060万円	6億4881万円	44.1%
議会費	4億1542万円	2億2453万円	54.0%
労働費	6638万円	3078万円	46.4%
その他	1億3572万円	66万円	0.5%
計	707億5284万円	221億2409万円	31.3%

一般会計

特別会計

会計名(事業)	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険	147億4000万円	68億3623万円	53億7049万円
土地取得	100万円	56万円	0円
有料駐車場	2億4300万円	2億7557万円	4560万円
下水道	47億3200万円	6億7273万円	12億5169万円
農業集落排水	6800万円	1103万円	1945万円
安城桜井駅周辺特定土地区画整理	28億 900万円	3億6298万円	12億 646万円
介護保険	101億2200万円	39億5995万円	40億7302万円
後期高齢者医療	19億8200万円	7億 993万円	3億4400万円
計	346億9700万円	128億2898万円	123億1071万円

特別会計・企業会計

企業会計(水道事業)

区分	予算額	執行済額
収益的収入	32億3800万円	15億5681万円
収益的支出	29億6500万円	7億6006万円
資本的収入	4億8900万円	5380万円
資本的支出	29億 712万円	10億1590万円